

2024年8月9日
株式会社京葉銀行

千葉市が発行する「グリーンボンド」への投資について



株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、このたび、千葉市（市長 神谷 俊一）が発行するグリーンボンドへの投資を決定しましたので、お知らせします。

「グリーンボンド」とは、調達資金の全額が環境問題の解決をめざすグリーンプロジェクトに充当される債券です。

本債券の発行にあたって、千葉市は「千葉市サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定し、国際資本市場協会（International Capital Market Association）による「グリーンボンド原則 2021」等との適合性について、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から外部評価（セカンドオピニオン）を取得しています。

本債券は、フレームワークで策定された適格グリーンプロジェクトのうち、新清掃工場・北清掃工場等の整備や自転車走行環境の整備、河川の浚渫等へと充当される予定です。

<本債券の概要>

銘柄	千葉市令和6年度第4回公募公債（グリーンボンド・10年）
年限	10年
発行額	50億円
発行日	2024年8月27日（火）

当行は、今後も地域金融機関としてSDGsの達成に向けた取り組みを通じて、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

以上



京葉銀行ではSDGsへの取り組みに関するニュースリリースに、「SDGs 17の目標アイコン」を標示しています。

【SDGs : Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）】
2015年9月に国連で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成される。